

【OIE 情報】 ルーマニアにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

ルーマニアにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について、OIEへ報告（続報3）がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国とルーマニアとの間に偶蹄類動物及びそれらの動物由来の食肉等の家畜衛生条件はありません。

出典：OIEウェブサイト（2014年12月23日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16819

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（続報3）
- ・発生日：2014年12月22日
- ・OIEへの報告日：2014年12月23日
- ・ルーマニアにおける2例目の発生
- ・臨床徴候は認められていない（と畜場での検査）

【発生状況】

- ・ルーマニア コヴァスナ県 レチの裏庭飼育農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛		1	0	1	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・臨床所見を示していない1頭の牛がダウンボヴィツァのと畜場でと畜された
- ・コホートを同定するための追跡調査を実施予定
- ・EU規則999/2001に基づく措置を実施中
（動物衛生課注：月齢及び定型/非定型に関する記載なし）

【対応】

- ・スクリーニング
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：Institute for Diagnostic and Animal Health（国立研究所）
- ・診断法：迅速検査：陽性（2014年12月22日）
ウェスタンブロット：陽性（2014年12月23日）

【発生地図】

(前回) 2014年5月6日
クルジュ県
非定型、L型

2014年12月22日
コヴァスナ県

